

第22回 画像センシングシンポジウム

The 22nd Symposium on Sensing via Image Information
(SSII2016)

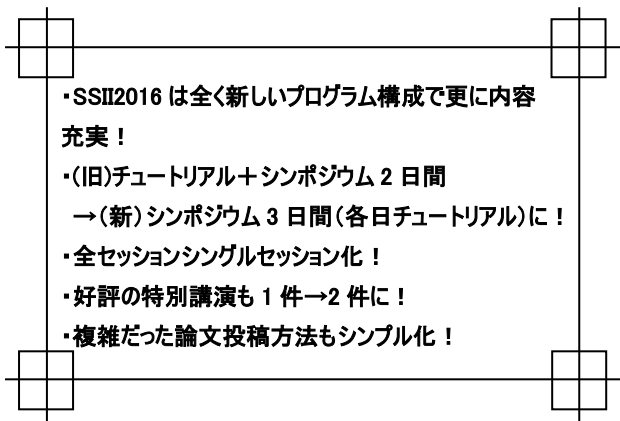
発表募集

<http://ssii.jp/>

会期:2016年6月8日(水)~10日(金)
チュートリアル講演会
+ シンポジウム
会場:パシフィコ横浜アネックスホール

飛躍 & 新展開

~未来を創る画像センシング技術~



・SSII2016は全く新しいプログラム構成で更に内容充実!

・(旧)チュートリアル+シンポジウム2日間
→(新)シンポジウム3日間(各日チュートリアル)に!

・全セッションシングルセッション化!

・好評の特別講演も1件→2件に!

・複雑だった論文投稿方法もシンプル化!

ごあいさつ

SSII2016 実行委員長: 青木義満(慶應義塾大学)

第22回画像センシングシンポジウム(SSII2016)の発表を募集致します。本シンポジウムは1995年以来、画像センシング技術の急速な発展の歴史と共に歩み、常に新しい技術や応用分野を取り込みながら、着実に成長してまいりました。本シンポジウム発の理論や技術が、産業現場において実用化され、社会の発展に寄与した事例も多数生まれるなど、その成果は着実に実を結びつつあります。これからは、更に新しい産業展開を生み出すような革新的な画像センシング技術の創出が求められています。

SSII2016では、画像センシングに関わる研究開発を活発に進められている皆様からのご発表をお待ちしています。

前回のSSII2015では1,150名もの方々にご参加いただきました。そのうち、産業界からの参加者が7割を超えている事実がSSIIの最大の特徴といえます。発表者の皆様にとっては、学術的な議論のみならず、産業界からの実用的な要請や知見を得るための貴重な機会としてご利用いただけます。

本シンポジウムのインタラクティブ&ショートオーラルセッション、デモンストレーションセッションでは、約120件を超える発表が行われ、熱のこもった活発な議論が展開されております。SSII2016では、より議論しやすい環境とプログラムを皆様にご提供できるよう、新たな試みを検討しております。ご自身のご研究を更に発展させるための機会として、また、共に新しい産業応用を創造するための議論の場として、SSII2016を是非ご活用下さい。皆様のご応募をお待ち申し上げます。

■本シンポジウムの目指すもの、発表論文の内容について

本シンポジウムは、「画像センシング技術」をキーワードにさまざまな分野の方々が結集し、研究発表および議論を行う「良き場」となることを目指しております。産業界にインパクトを与える先進的な基礎研究や挑戦的な問題提起から、今そこにある実課題への取り組みや、現場での実利用に欠かせないノウハウやエンジニアリングに関する発表まで広く募集いたします。

■論文発表を募集するセッションについて

発表者と参加者の自由なコミュニケーションの場を提供するためのインタラクティブ&ショートオーラルセッション、および実際にリアリティあふれるデモをご覧いただくデモンストレーションセッションの2つを募集いたします。

(1) インタラクティブ&ショートオーラルセッション

参加者との対話を重視した本シンポジウムを特徴づける中心的なセッションです。先進的な手法の発表のみならず、実利用を想定したシステムや創造的な工夫や実用化された特許等、企業の方々からの発表も多数お待ちしております。インタラクティブセッションでは、創意あふれる発表によってたくさんの方々にアピールしていただけます。また、インタラクティブセッションでの発表に先立って、発表者の方全員に口頭発表を行っていただけます。発表内容のダイジェストだけにとどまらず、思わずポスターを訪れ聴いてみたい魅力的な「発表の宣伝」によって、より多くの聴衆を獲得するための場としてご利用いただけます。なお、本セッションはSSII 学術賞およびSSII オーディエンス賞の選考対象になります。

(2) デモンストレーションセッション

展示会場(1階、2階)でのデモンストレーション発表です。最先端の画像センシング技術及び実応用システムを多くの参加者に直接アピールできます。特にその場でのシステム実働の様子や効果を実感できるデモンストレーションを推奨します。目を引きやすく広い発表スペース、十分な展示時間(1日間から)で存分に独自技術をアピールしていただけます。すでに実用化の予定があるものに限らず、実用化を視野に入れておられる方、十分な議論の時間を確保したい方に最適な展示発表形式です。なお、本セッションでの発表は、SSII デモンストレーション賞の選考対象になります。

■スケジュール

発表応募期限:	2016年2月24日(水)
採否決定通知:	2016年3月10日(木)
カメラレディ原稿提出期限:	2016年3月24日(木)

■応募方法・査読

Webサイト(<http://ssii.jp/>)で受け付けます。以下の書式ファイルをダウンロードし、ご記入の上、ご投稿ください。

(1) 応募原稿

インタラクティブ&ショートオーラルセッションおよびデモンストレーションセッションをお申し込みの方は、題目、著者名、所属、連絡先、発表の概要を1ページでご記入ください。

(2) 応募チェックシート

インタラクティブ&ショートオーラルセッションにお申し込みの方は発表内容に関する自己評価、必要設備の要望を、また、デモンストレーションセッションにお申し込みの方は、展示システムの動作と展示の様子についてご記入ください。

ご提出いただいた応募書類をもとに査読を行い、採否を決定します。応募要領・査読の詳細はWebサイトをご覧ください。

■カメラレディ原稿

インタラクティブ&ショートオーラルセッションでは、電子版予稿集用のフルレンクス原稿(最大8ページ)、及び印刷版予稿集用のダイジェスト原稿(1ページ)の両方をご提出いただけます。

デモンストレーションセッションでは印刷版予稿集用のダイジェスト原稿のみご提出いただけます。

■優秀発表の表彰

SSIIでは発表に対し、以下の表彰を行います。

(1) SSII 学術賞

インタラクティブ&ショートオーラルセッションのご発表の中から実用性・完成度・社会波及効果・プレゼンテーションなどのインパクトを総合評価し、優秀な技術発表を表彰いたします。

(2) SSII オーディエンス賞

インタラクティブ&ショートオーラルセッションのご発表の中から、聴講された参加者皆様の投票をもとに優秀な発表を閉会式で表彰するオーディエンス賞も昨年同様実施いたします。

(3) SSII デモンストレーション賞

参加者からの投票をもとに、デモンストレーションセッションのご発表の中からSSII デモンストレーション賞を選考し、表彰いたします。

(4) 画像センシング技術研究会高木賞

SSIIの創始者である故高木幹雄先生の功績にちなみ、過去10年(2006~2015年)のSSIIで発表された研究成果の中から実用化の観点で社会に大きく貢献したものを画像センシング技術研究会高木賞として表彰いたします。募集要項はWebサイトをご覧ください。

■SSII2016についてのお問い合わせ

【画像センシング技術研究会事務局】

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 アドコム・メディア(株)
Tel: 03-3367-0571 Fax: 03-3368-1519 Mail: info@ssii.jp

第22回 画像センシングシンポジウム

The 22nd Symposium on Sensing via Image Information

SSII 2016

2016年6月8日(水)~10日(金)
パシフィコ横浜アネックスホール

発表募集

Call for Papers

発表応募期限 2016年2月24日(水)

<http://ssii.jp/>

■ チュートリアル講演会

「Kinect等の色距離センサを用いた点群処理と3D物体認識」、「ROSによるロボットソフトウェアの開発」、「Pythonによる機械学習」、「反射・散乱」、「背景差分法」をテーマに、第一線でご活躍の講師陣が、基礎技術から応用事例までをわかりやすく解説いたします。

■ オーガナイズドセッション

実応用から基礎まで画像センシングの新しい応用&技術革新について期待が高まるテーマを選びすぎります。

■ 特別講演

画像センシング分野における第一線の研究者に、技術革新と新しい応用への展望を感じさせるような話題についてご講演いただきます。SSII2016では、2件の特別講演を予定しております。ご期待下さい。

■ 参加費

プログラム構成の変更に伴い、従来のシンポジウムからの参加プランを無くし、チュートリアルからシンポジウムまで、全てのプログラムの聴講が可能で1つの参加プランに統一しました。また、企業の皆様に好評なグループ登録も引き続きご活用頂けます。

- ・一般: 25,000円(30,000円) / 学生: 10,000円(13,000円)
- ・グループ登録: 50,000円(一般, 3名分)

※参加費は5月15日までにWebにて事前登録していただいた場合となります。

※5月16日以降のお申し込みにつきましては括弧内の金額となります。
※詳しくはWebサイトをご覧ください。

■ 展示会・関連イベント

1Fの展示ホールでは、併設展示会画像センシング展2016、ROBOMECH2016が開催されています。

・画像センシング展 2016

お問い合わせ: アドコム・メディア(株) Tel: 03-3367-0571
<http://www.adcom-media.co.jp/sensing/>

・ROBOMECH2016

<http://robomech.org/2016/>

■ 主催: 画像センシング技術研究会

(会長: 中京大学 奥水大和)

【協賛】 映像情報メディア学会 応用物理学会 可視化情報学会 画像電子学会 計測自動制御学会 情報処理学会 精密工学会 電気学会 電子情報通信学会 日本医学放射線学会 日本印刷学会 日本顔学会 日本生体医工学学会 日本核医学会 日本機械学会 日本航空宇宙学会 日本材料学会 日本写真学会 日本写真測量学会 日本超音波医学会 日本バーチャルリアリティ学会 日本非破壊検査協会 日本リモートセンシング学会 日本ロボット学会 溶接学会 レーザー学会

【協力】 電子情報通信学会 パターン認識・メディア理解研究会 情報処理学会 コンピュータビジョン・イメージメディア研究会 精密工学会 画像応用技術専門委員会 電気学会 非整備環境現場に駆動されたパターン認識技術協同研究委員会

■ SSII2016 実行委員会

実行委員長: 青木義満(慶應義塾大)

◇運営委員会: 梅田和昇(委員長: 中央大), 山下淳(副委員長: 東京大)

◆財務部会: 浮田浩行(部会長: 徳島大), 中村明生(副部会長: 東京電機大), 恩田寿和(顧問: 明電舎), 中島慶人(顧問: 電中研)

◆庶務・会場部会: 深井寛修(部会長: 明電舎), 子安大士(副部会長: 東京農工大), 吉田武史(青山学院大), 亀田裕介(東京理科大), 中澤 満(楽天技術研究所), 藤 大樹(日立製作所), 伊藤康一(東北大), 高橋巧一(日本電気), 満倉靖恵(顧問: 慶應義塾大), 清水 毅(顧問: 山梨大)

◆広報部会: 廣瀬 誠(部会長: 松江高専), 門馬英一郎(副部会長: 日本大), 波部 斉(顧問: 近畿大), 藤原孝幸(顧問: 北海道情報大)

◆出版部会: 林純一郎(部会長: 香川大), 明石卓也(副部会長: 岩手大), 小林貴訓(顧問: 埼玉大)

◇プログラム委員会: 佐藤雄隆(委員長: 産総研), 諏訪正樹(顧問: オムロン)

◆チュートリアルセッション部会: 安倍 満(部会長: デンソーアイティラボラトリ), 鳥居秋彦(副部会長: 東京工業大), 出口大輔(名古屋大), 橋本 学(顧問: 中京大)

◆オーガナイズドセッション部会: 西山正志(部会長: 鳥取大), 田藤雅基(副部会長: パナソニック), 田中正行(東京工業大), 波部 斉(近畿大), 野中悠介(富士通研究所), 千葉直樹(顧問: 楽天)

◆インタラクティブ&ショートオーラルセッション部会: 堀田一弘(部会長: 名城大), 滝本裕則(副部会長: 岡山県立大), 大山 航(顧問: 三重大), 加藤邦人(顧問: 岐阜大)

◆デモンストレーションセッション部会: 堂前幸康(部会長: 三菱電機), 伊藤誠也(副部会長: 日立製作所), 清水雅夫(顧問: 日本大)

◆表彰小委員会: 諏訪正樹(委員長: オムロン), 下村倫子(顧問: 日産自動車)

■ 組織委員会

青木公也(中京大), 青木義満(慶應義塾大), 梅田和昇(中央大), 奥富正敏(東京工業大), 恩田寿和(明電舎), 加藤邦人(岐阜大), 金子俊一(北海道大), 川出雅人(オムロン), 久野義徳(埼玉大), 奥水大和(中京大), 斎藤英雄(慶應義塾大), 坂上勝彦(産業技術総合研究所), 佐々木 繁(富士通研究所), 佐藤雄隆(産業技術総合研究所), 下村倫子(日産自動車), 鷺見和彦(青山学院大), 諏訪正樹(オムロン), 谷口倫一郎(九州大), 寺田賢治(徳島大), 豊田晴義(浜松ホトニクス), 中島慶人(電力中央研究所), 野口 稔(日立ハイテクノロジー), 橋本周司(早稲田大), 橋本 学(中京大), 藤吉弘亘(中部大), 堀 修(東芝), 満倉靖恵(慶應義塾大), 三和田靖彦(理化学研究所), 山本和彦(イノインテック研究所), 油田信一(芝浦工業大), 横山 敦(京セラ)

監事: 山本和彦(イノインテック研究所), 油田信一(芝浦工業大)

顧問: 中島真人(慶應義塾大名誉教授)

会長: 奥水大和(中京大)